

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
川越市	川越市	平成23～27年度	平成23～27年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成 年度)	目標 (割合※1) (平成 年度) A	実績 (割合※1) (平成 年度) B	実績B/目 標A※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%	
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成21年度)	目 標 (平成28年度) A	実 績 (平成28年度) B	実績B/目 標A※3	
総人口	340,529	330,100	351,863	—	
公共下水道	污水衛生処理人口	280,393	293,117	292,918	99.9 %
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	82.3 %	88.8 %	83.2 %	13.8 %
集落排水施設等	污水衛生処理人口	1,108	3,527	2,024	57.4 %
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	0.3 %	1.1 %	0.6 %	37.5 %
合併処理浄化槽等	污水衛生処理人口	19,993	19,759	35,515	179.7 %
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	5.9 %	6.0 %	10.1 %	4200.0%
未処理人口	污水衛生未処理人口	39,035	13,697	21,406	156.3 %

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

(生活排水処理)

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの		生活排水対策	川越市	・家庭等から排出される汚濁負荷量削減のため、啓発活動等を実施する。	H23～H27	・汲み取り世帯や単独処理浄化槽設置世帯に対し、チラシを配布し、補助金制度を利用した合併処理浄化槽への転換を推進した。
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの		浄化槽設置整備	川越市	・浄化槽の下水道事業計画区域外における生活排水による公共用水域の汚濁を軽減するため、個人設置型の合併処理浄化槽の設置を進める。	H23～H27	・合併処理浄化槽への転換実績 H23： 3 9基 H24： 3 7基 H25： 3 7基 H26： 3 1基 H27： 3 5基 合計：1 7 9基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

(生活排水処理)

平成23年度から平成27年度までの整備予定基数を203基としていたが、実績は179基で整備予定基数を達成できなかった。

汚水衛生処理率は、平成21年度実績の88.5%に対して、平成28年度における目標値を95.9%としたが実績は93.9%で目標を達成することができなかった。

個別の目標の達成状況においては、公共下水道について、処理人口はほぼ目標どおりに推移したが若干目標を達成しなかった。また、集落排水施設等については、該当地域の一部で計画当初に見込んだ人口増加が見込みを下回ったため、目標を達成しなかった。合併処理浄化槽等については、計画当初は下水道整備の普及により合併処理浄化槽等は減少していく目標としていた。下水道事業は着実に進行しているが、下水道未整備区域における開発行為に伴う住宅や人口の増加が影響し、合併処理浄化槽等の処理人口は増加した。

また、未処理人口は、公共下水道や合併処理浄化槽等の着実な普及により大幅に減少しているものの目標を達成できなかった。

未達成の項目があるため、改善計画書を別添のとおり作成する。

(都道府県知事の所見)

(生活排水処理)

川越市は、目標年度において公共下水道及び集落排水施設は目標に届かなかったが、合併処理浄化槽は目標を達成することができた。

汚水衛生処理率は5.4ポイントの改善、未処理人口は1万7,000人以上減少と、とても大きな成果を上げている。

浄化槽の整備基数を見てみると、5年間で179基と平均で35基以上の整備をすることができた。

人口が目標時の見通しに反して増加しており、今後とも地域の実情に合わせて合併処理浄化槽の整備を進めていただきたい。